

## 神奈川県鉄道輸送力増強促進会議 令和5年度 要望・回答

## 東日本旅客鉄道 横須賀線

番号	要望事項	要望内容	回答
<b>I 輸送力増強</b>			
<b>1 輸送計画の改善</b>			
(1)	通勤・通学時間帯の増発	平成27年3月、平成31年3月のダイヤ改正で増発していただいているところですが、横須賀線の朝の通勤・通学時間帯は、非常に混雑していますので、混雑緩和のため、運転本数の増発等の取組みを実施されるよう要望いたします。	2015年3月のダイヤ改正において、ご利用が減少傾向にあった「おはようライナー逗子」の運転を取り止め、ほぼ同じ時刻で新たに横須賀線普通電車を増発いたしました。また、2019年3月のダイヤ改正では、7時台に大船始発の普通電車を1本増発し、更なる混雑緩和を図っております。 2022年3月のダイヤ改正では、ご利用状況に沿って、朝の通勤時間帯において1本削減を行いましたが、今後もお客さまのご利用状況を見極めつつ検討してまいります。
(2)	逗子駅始発上り電車の増発	三浦半島地域は人口減少の傾向にあり、地域活力の維持を図るため、通勤者の利便性の向上による利用促進及び転入促進を図っています。 しかし、横須賀線の逗子駅始発上り電車は、周辺市町の住民も多く利用しており、特に、朝の通勤・通学時間帯は、非常に混雑しています。 逗子駅から東京・横浜方面への上り電車の混雑を緩和し、通勤・通学者の更なる利便性の向上を図るため、同駅始発上り電車を含めた運転本数を増発されるよう要望いたします。	2015年3月のダイヤ改正において、ご利用が減少傾向にあった「おはようライナー逗子」の運転を取り止め、ほぼ同じ時刻に逗子発の横須賀線普通電車を運転し、混雑緩和を図っております。2022年3月のダイヤ改正では、朝の通勤・通学時間帯に逗子駅始発電車を4本増やしました。今後もお客さまのご利用状況を見極めつつ検討してまいります。
(3)	東戸塚駅での停車本数の増発	東戸塚駅の混雑対策として、これまでも、ラッシュ時の係員増員、ホーム上設置物の撤去、ホーム中央部の通行帯明示、エスカレーターの高速度等の対応をいただきましたが、特に朝のピーク時間帯には、ホーム上には依然として多くの利用者が滞留しており、ホーム上の混雑緩和、利用者の安全性確保は喫緊の課題です。 つきましては、新型コロナウイルス感染症の位置付けが令和5年5月から「5類感染症」となったことによる駅利用者数の一定の回復を見据え、朝の通勤時間帯において削減された1本のダイヤ復帰と、ピーク時間帯における東戸塚駅の停車本数増発を要望いたします。	2015年3月のダイヤ改正において、ご利用が減少傾向にあった「おはようライナー逗子」の運転を取り止め、ほぼ同じ時刻で新たに横須賀線普通電車を増発いたしました。また、2019年3月のダイヤ改正では、7時台に大船始発の普通電車を1本増発し、更なる混雑緩和を図っております。 2022年3月のダイヤ改正では、ご利用状況に沿って、朝の通勤時間帯において1本削減しましたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、一定程度の回復はあるものの、依然としてご利用は低迷しております。今後もお客さまのご利用状況を見極めつつ検討してまいります。
(4)	逗子駅での増結・切離し時間の短縮	現在、逗子駅で平均3分30秒間要している連結・切離しによる待ち合わせ時間の短縮を要望いたします。 逗子駅での分割・併合作業による所要時間や、作業のない列車の停車時間等を可能な限り削減するよう努めていただいているところですが、引き続き運行ダイヤの見直しの際など、停車時間の短縮にご配慮いただきますようお願いいたします。	横須賀線逗子～久里浜間は、11両編成での運転となるため、15両編成は逗子駅で分割・併合作業を行っており、これ以上の短縮は現状では困難な状況ですが、停車時間が可能な限り長くないよう努めております。なお、横須賀～久里浜間が単線運転のため運転間隔を調整する必要があるほか、新宿方面からの湘南新宿ラインとの接続を行うための停車もごさいますのでご理解願います。
(5)	相鉄・JR直通線の品川・東京方面への乗入れ	相鉄・JR直通線の貴社線内への乗入れ先については、新宿を基本として運行されていますが、沿線地域の活性化や一層の利便性向上とともに、事故や災害時における代替経路の確保などの効果が期待できることから、品川・東京方面への乗入れについても検討されるよう要望いたします。	神奈川東部方面線(相鉄・JR直通線)の運行体系については、既認定の速達性向上計画に定められている通り、新宿方面への運行を基本として、関係事業者間で調整を進め、2019年11月30日より直通運転を開始いたしました。現時点では新宿方面以外への運行の予定はございませんが、今後のお客さまのご利用状況を見極めてまいります。

番号	要望事項	要望内容	回答
II 利便性向上			
2 駅施設等の整備			
(1)	鎌倉駅、北鎌倉駅及び大船駅のホーム上での安全性確保	ホーム上において安全を確保するには、ホームドアまたは可動式ホーム柵を始めとするホームからの転落防止施設の設置が不可欠となっており、市内3駅においては貴社プレスリリースにおいて2031年末頃までのホームドア設置を目指す旨と発表いただいています。そのような中、鎌倉駅では令和5年2月には体の不自由な乗客と電車の接触事故が発生したことから、一刻も早いホームドア設置の声が高まっています。現在、鎌倉駅では大型連休や大規模なイベントの開催時等に多数の観光客の来訪が見込まれる際は社員・駅員及びガードマン等を配置するなどの措置を講じていただいているところですが、事故等の懸念は払拭されていない状況です。今後、市内3駅のホームドア等の設置にあたっては、鎌倉駅、北鎌倉駅はホームの幅が狭い現状も踏まえ、ホームのあり方も含めた安全確保について検討していただくよう要望いたします。特に、鎌倉駅は多数の観光客の来訪が見込まれることから、優先的にホームドアを設置していただくとともに、ホーム上の混雑緩和を目的とした新たな動線確保についても検討していただくよう要望いたします。	大船駅、鎌倉、北鎌倉駅周辺でイベント等の開催や観光シーズンなど多数のお客さまのご利用が見込まれる際には、引き続きホーム及びコンコース等に社員またはガードマンを配置し、駅の安全確保に取り組んでまいります。ホームドアにつきましては、2023年4月13日付けプレスで公表しております内容の通り、東京圏在来線の主要路線について、2031年度末頃までの整備を目指してまいります。また、鎌倉駅ホーム上の混雑緩和対策についてはお客さまのご利用状況に応じて検討してまいります。
(2)	新川崎駅舎の改良	新川崎駅周辺地区では、市街地再開発事業等、周辺区域の土地利用転換が進み、K2タウンキャンパスをはじめ、かわさき新産業創造センターや企業の事業所等が立地しており、今後も、新川崎駅利用者の増加が見込まれます。川崎市においてもまちづくりに合わせた交通広場や駅前広場ロータリー、鹿島田こ線歩道橋の整備などを進めてまいりましたが、今後の鉄道利用者の更なる安全性の確保や利便性の向上を図るため、駅南側への改札口の新設や駅施設の改良を要望いたします。	新川崎駅における改札口の新設及び駅施設の改良については、現時点で実施する計画はございませんが、今後のお客さまのご利用状況に応じて検討してまいります。
(3)	東戸塚駅舎の改良	東戸塚駅の混雑対策として、これまでも、ラッシュ時の係員増員、ホーム上設置物の撤去、ホーム中央部の通行帯明示、エスカレーターの高速化等の対応をいただきましたが、特に朝のピーク時間帯には、ホーム上には依然として多くの利用者が滞留しており、ホーム上の混雑緩和、利用者の安全性確保は喫緊の課題です。つきましては、新型コロナウイルス感染症の位置付けが令和5年5月から「5類感染症」となったことによる駅利用者数の一定の回復を見据え、ホーム上の混雑緩和・安全性確保につながる駅舎改良について、引き続き検討を進めていただくよう要望いたします。	東戸塚駅では、ホーム上の混雑対策として、これまでに朝ラッシュ時の係員を増員、列車待ちの際の整列補助ライン設置、自販機撤去、ホーム上グリーン券売機移設、ベンチ・時刻表一部撤去、ホーム中央部の通行帯明示、上下エスカレーターの高速化、夕方以降の2基上り運転及びホーム事務室の縮小化等、様々な混雑緩和を図ってまいりました。また、ホーム上の安全対策として、2017年12月にホームCPラインを整備しております。引き続き、関係自治体のご協力を得ながら取り組んでまいります。
(4)	北鎌倉駅舎の混雑対策	北鎌倉駅の改札口は長いホーム南端の1か所のみであるため、特に駅利用者の集中する時間帯や観光シーズンなどは、改札口へ向う周辺道路に利用者が集中するだけでなく、ホームをはじめとする駅構内が利用者であふれています。つきましては、鉄道用地が狭隘である等大きな制約がある中での人的対応等ソフト面の安全性確保及び利便性向上のより一層の取組みを要望いたします。	北鎌倉駅では2015年度にホーム屋根の大幅な増築を行ったことにより、降雨時におけるお客さまの滞留箇所を分散させることができ、混雑緩和を図りました。また、観光シーズン(GW・紫陽花シーズン・秋の紅葉)については、お客さまのご利用状況により社員を配置するなど、安全確保及び利便性向上に取り組んでおります。

番号	要望事項	要望内容	回答
(5)	東逗子駅北口への改札口の設置	東逗子駅北口への改札口の新設については、現時点で実施する計画がないとの回答を以前にいただきましたが、アクセス施設など大規模な整備工事を実施せずに設置可能な、ICスマート改札による改札口整備についても検討していただくよう要望いたします。	ICスマート改札含め、東逗子駅の改札口の新設については、現時点で実施する計画はございませんが、今後のお客さまのご利用状況に応じて検討してまいります。
(6)	武蔵小杉駅の混雑対策	横須賀線武蔵小杉駅の抜本的な混雑対策として、下りホームの新設及び新規改札口の設置が公表されており、下りホームは令和4年12月に供用開始され、新規改札口は令和5年度内に供用開始を予定されていますが、関係各所と連携し、できる限りの早期整備を要望いたします。また、令和元年11月に開業した神奈川東部方面線、相鉄・JR直通線に伴う武蔵小杉駅の混雑状況への影響等を踏まえ、適切に安全確保されますよう要望いたします。	横須賀線武蔵小杉駅の混雑緩和対策として整備していた新規改札口は、綱島街道改札として2023年12月24日7:00より供用開始しております。引き続きお客さまのご利用状況に応じて安全確保に努めてまいります。
(7)	鎌倉駅及び北鎌倉駅への大型コインロッカーの増設	鎌倉市にはコロナ禍以前は年間約2,000万人の観光客が訪れており、特に観光スポットが集中している鎌倉地域においては、新型コロナウイルス感染症の位置付けが令和5年5月から「5類感染症」となり、入国規制が緩和されたことなどから、今後は更なる外国人観光客や宿泊客の増加が見込まれます。 つきましては、既に多くのコインロッカーを設置していただいているところですが、観光客からの設置要望が多い大型コインロッカーについて、利便性向上を図るため、鎌倉駅及び北鎌倉駅に増設していただくよう要望いたします。	鎌倉駅につきましては、現在、大型ロッカー個数の増設を検討しております。北鎌倉駅につきましては、駅利用者層や既存ロッカーの稼働状況を踏まえ、検討してまいります。
<b>Ⅲ その他</b>			
(1)	逗子駅での英語放送の実施	池子米軍家族住宅の居住者などをはじめとする外国人利用者に対する利便性向上のため、逗子駅において英語による案内放送が行われるよう要望いたします。	英語放送は、在来線列車等の自動放送設備を備える車両におきましては、日本語のほか英語によるご案内を実施しております。逗子駅を発着する横須賀線や湘南新宿ラインの車両においても、自動放送において英語放送を実施しております。なお、駅の放送については、外国からのお客さまのご利用が多い列車の発着するホームにおいて自動放送設備がある場合には、英語による案内放送を実施している駅もございますが、逗子駅につきましては、お客さまのご利用状況を見極めながら検討してまいります。なお、JREast InfoLineによる専用回線を使用した英語・ハングル・中国語での電話案内による対応に加え、改札窓口等におきましては、社員による対応やタブレット端末の翻訳ソフトを活用し外国からのお客さまにとって、より分かりやすいご案内を目指し取組んでまいります。